

令和3年6月22日

取手市議会議長

齋藤久代 殿

建設経済常任委員会

委員長 金澤克仁

委員会中間報告書

本委員会の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和2年度「議会を知り・未来を語る～取手二中3年生&取手市議会～」における中学生市議から提言された事項に関する当委員会所管事務
- 2 調査の経過 令和3年3月9日、4月22日
- 3 意見 別紙のとおり

【建設経済常任委員会】令和2年度取手二中3年生との合同企画（課題・提案・考えられる効果等）

	中学生からの課題	中学生からの提案	提案が実施できた場合の考えられる変化や効果	現状・課題等
1	<p>ゴミ集積所にある景観の悪化 ゴミの散乱による菌の増殖を防ぐ</p>	<p>・市にあるネット式のゴミ集積所をなくし、網目の箱型ステーションを設置する</p>	<p>・ゴミ袋が地面に広がらないから通行人の邪魔にならない ・コロナウイルス感染源になるのを防ぐ ・ビニール袋削減になる ・ゴミ収集業者の方々の迷惑にならない</p>	<p>ゴミの散乱等を防ぐためには効果的な提案ですが、これを具体化していくためには次の課題があります。</p> <p>・集積所は個人が所有している土地や道路上等に設定されているため、スペースの確保や歩道が狭くなる等の問題があり、全てを箱型ステーションにすることは難しい状況です。</p> <p>・どのように集積所を清潔に管理運営していくかは利用している地区の皆様をお願いしているため、地区の調整がとても難しいと思われます。</p> <p>以上の課題から、箱型ステーションを全ての集積所に置き換えることは難しいと予想されます。</p> <p>現状でゴミの散乱を防ぐためには、ゴミを前日に出さない、生ゴミは生ゴミ処理機等を使い御自宅で処理する、食品ロスを削減する、ゴミとなるものをそもそも受け取らない（例：マイバッグの持参等）、分別をしっかりとって分別不良のごみを集積所に残さない等の工夫もできます。市民一人一人の意識改革・マナー向上がゴミの散乱を防ぐ上で重要であると思います。</p>

2	地球温暖化対策の強化 (緑のカーテン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取手市内の小・中・高等学校計 25 校と公民館 13 箇所に 1 校 20 苗ずつ配給</li> <li>・取手市内の消防署、警察署、市役所、スポーツセンターに 1 苗ずつ配給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策の強化</li> <li>・二酸化炭素の排出量&amp;エアコンによる消費電力量削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市では省エネや二酸化炭素排出の削減対策の一環として、平成 20 年度から市内公共施設へ緑のカーテンを設置し、更に広めるため、平成 23 年度から「緑のカーテンコンクール」を開催するなどして市民や事業者への普及啓発に努めています。</li> <li>令和 3 年度においては NPO 法人緑のカーテン応援団との共催による「第 10 回全国緑のカーテンフォーラム」を取手市で開催すべく計画を進めています。</li> <li>5 月 31 日(月)には、茨城県環境アドバイザーによる「緑のカーテンづくり講習会」を市民対象に開催し、受講者全員にゴーヤの苗を配布しました。</li> <li>公共施設への緑のカーテン設置につきましても、令和 3 年度は、全国緑のカーテンフォーラムの開催を予定している事から例年よりも苗の購入を増やし、より多くの施設へ設置していく予定です。</li> <li>また、市議会としましても緑のカーテンについて調査したところ「緑のカーテン」に特化し、育てるならばヘチマよりゴーヤの方がよいという調査結果がありましたので、令和 3 年度につきましては試験的に議会棟裏にヘチマとゴーヤの 2 種類を植え、今後の参考にしていきたいと考えています。</li> <li>(写真は別ページ)</li> </ul>
---	------------------------	---	--	--

			<p>【令和2年度公共施設への設置実績】  (種別：ゴーヤ)  本庁舎・福祉交流センター・藤代スポーツセンター・市内小中学校 19校・公民館 4館・消防署 3署 (計29施設)  ※毎年各施設、小中学校へ緑のカーテン設置希望調査を行い、希望する施設等に苗を配布している。</p>
	<p>・できた作物を夢とりでなどで売る</p>	<p>ヘチマ (カーテンに使用) の化粧水で地域ブランド</p>	<p>実ったヘチマを原料に化粧水として販売するためには、安全性の確保や品質管理、また「化粧品製造販売業許可」等、複数の免許・許可が必要になることから課題が多くあります。  今後の課題とさせていただきます。</p>



令和3年5月24日  
金澤委員長と関川副委員長でゴーヤとヘチマ  
苗を植栽。



令和3年6月22日  
(上)  
ヘチマの生育状況。ゴーヤに比べて葉が大きい。また、枝分かれせずまっすぐ育っている。  
(右)  
花が散った後、実が大きくなっている。



令和3年6月22日  
ゴーヤの生育状況。葉は小さいが、枝分かれして茂っている。

